

No. 1328

富士山クリーン作戦

日本人のこころのふるさとであり、わが国の自然の象徴でもある富士山。その富士山をきれいにしよう、と6月32日、環境庁と山梨、静岡両県合同の「富士山クリーン作戦」が行われました。山梨県側にはボランティアをはじめ地元高校生など12,000人が参加、参加者を代表して富士吉田市消防団長市川氏が「富士山クリーン宣言」を読み上げました。このあと登山道周辺を中心に人海戦術に空カンなどの掃討作戦が展開されました。この日静岡県側には上村環境庁長官が、また山梨県側には山東昭子同庁政務次官が参加し、ゴミひろいに汗を流していました。心ない登山者が投げ捨てる空カンはたまる一方で環境庁の推定では二千万個もの空カンが散在しているといえます。参加者はポリ袋を手次々に手わけしてひろい集めていきます。富士山はいま下界の3月下旬の陽気。しかし太陽の照りつけるなか、4時間にわたって汗だくの回収作業が続けられました。結局午後2時すぎまでに山梨静岡両県で回収された空カンは数十万個、重さにして百トンにものぼりました。2万人が動員されたこの「富士山クリーン作戦」まずは大成功でした。

カーター米大統領来日

米国のカーター大統領は28日からの東京サミットに出席する先進6ヶ国の中でひと足先に、24日、午後6時羽田に到着した。大統領専用機「エアホース1」にタラップがつけられると、カーター大統領に続いてロザリン夫人、一人娘のエミーちゃんが元気な姿を見せた。この日羽田空港周辺は2000人の警察官が警備にあたった一行は宿舎の米大使館で一夜を過ごし、25日10時から、迎賓館の歓迎行事に臨んだ。このあと、大統領はロザリン夫人とともに皇居に向い、天皇 皇后両陛下と約20分間正式の会見をした。次いで首相官邸で大平首相との第一回日米首脳会談。日米両首脳は「エネルギー」「難民」などを中心に熱のこもった討議を行った。首脳会談のあとの昼食会には「世界のホームラン王」巨人の王選手も出席、外文に一役買った大平首相とカーター大統領は故吉田元首相の旧邸で第2回首脳会談を行い、28日からの東京サミットに臨む。